

# 対テロ新法が成立

## 衆院57年ぶり再議決



衆院本会議の再議決で、新テロ対策特別措置法案が可決、成立し、拍手する福田首相（上段右から2人目）ら  
＝11日午後2時

今国会最大の焦点となつた新テロ対策特別措置法案は十一日午後の衆院本会議で、憲法五九条の規定に基づき、出席議員の三分の二以上の賛成多数

で再議決、成立した。これに先立つ参院本会議では民主党など野党の反対多数で否決され、民主党提出の「対案」が可決された。参院で否決された

法案が衆院再議決により成立したのは、一九五一年の「モーターボート競走法」以来五十七年ぶり。政府は対テロ新法成立を受け、インド洋での海

上自衛隊の給油活動を再開するため、来週半ばに海自派遣の実施計画を閣議決定。月内に補給艦などを出航させる。昨年十一月から中断している海

自の給油活動は二月中旬にも再開する見通し。  
衆院再議決の結果は賛成三百四十票、反対百三十三票だった。  
民主党は福田康夫首相の問責決議案提出は見送る。参院で与野党が逆転した「ねじれ」を受けた与野党の攻防は、道路特定財源の暫定税率を維持するための租税特別措置法改正案を審議する通常国会に持ち越された。  
昨年十一月一日いっばいで失効したテロ対策特別措置法に代わる対テロ新法は、海自の活動を給油・給水に限定し、期間は一年。活動を限定したことを理由に国会承認条項は削除された。  
民主党対案はアフガニスタンの民生支援のため自衛隊や民間人を派遣する内容。